

📖 今月のおすすめ本 📖

『仕事でも、仕事じゃなくても—漫画とよしながふみ』

著者名 よしなが ふみ
出版者 フィルムアート社
出版年 2022
分類番号 726.101/3



ドラマ化・映画化されている『きのう何食べた?』や『大奥』で知られている漫画家 よしながふみのインタビュー本です。本人もあとがきで「長時間のインタビュー」と書いているように、既刊コミックスについて作成秘話や内容、その作品への思いについて詳しく書かれていて、かなり厚め 359頁の本となっています。ただ、作者の本を1冊でも読んだことのある人ならそれを切り口に、どんな裏話があるか…など興味をそそられるので、なかなか本を閉じられなくなってしまう悩ましい本でもあります。

また、「何かしらかの結論が出るまで議論をする」家庭であったとか、中学では「森の中の一本の木になることに心砕いていた」、小学校から食へのこだわりがあった等、幼少期からのその人となりが見えるエピソードが満載です。小学生の頃将来について「会社勤めをしている女性が結婚した場合、やめなくてはいけないわけではないけれど、結婚、出産をしてやめることを前提に雇っているところもあると。だから、結婚したあともそこで働き続けることで非常に居心地が悪い思いをするだろうと聞いていて」と当時のジェンダー観の認識を振り返っていて、その後 男女の社会的役割が逆転した社会を描いた『大奥』を世に送り出しています。この作品がかなりの反響をもって受け入れられているのは、現在のジェンダーの捉え方から見るととても興味深いことです。

堅苦しいことは抜きにしても、「仕事でも仕事じゃなくても」漫画を読むのが好きという著者本人も自負している様にかかなりの漫画愛があり、他の作家の名前や漫画のタイトルもたくさん出てくるので、それを追って見ていくのも楽しい一冊です。

📖 この著者の作品について記事があります

『女性労働研究 No.55(2011) 均等法25年と女性労働』【C366.38/ㄗ/55】

女性労働問題研究会/編(2011)女性労働問題研究会

『自転車と女たちの世紀 - 革命は車輪に乗って』

著者名 ハナ・ロス/著、坂本麻里子/訳
出版者 Pヴァイン
出版年 2023
分類番号 367.23/0

女性が自由に移動することもズボンを履くことも難しかった19世紀のヴィクトリア朝のイギリス、上流階級男性のものだった自転車を女性も乗り始めました。ある女性は夫婦で未開の地を、しかもズボンでなくドレス姿で。またある女性は世界の高い山々を越え世界初の称号を目指して一と、果敢に挑戦する女性たち。閉じ込められていた家の中から外へと飛び出し、漕ぎ出していきはじめたのです。

この時代のあるべき女性像から脱却しようとする新たな女性たちが、「エンパワメント、自由、変化を宣伝し促進した」とある動きと、サイクリングが結びついて認識されていきました。例えば、大学で学ぶ女性に出ていけと言わぬばかりに、男子学生は女性の人形を自転車とともに吊上げておどしてみせました。また1900年代初めの女性参政権の運動では、自転車が行動範囲を広げる助けとなり、自転車と共にそのプラカードを掲げている模様も挙げられています。

この本ではイギリスのみならず世界の「自転車と女たち」にまつわる実話を、著者が膨大な資料をもとに語っています。これを読んだら、ペダルに足を掛けたくくなります。自分もペダル・パワーを感じられるかもしれないと。

📖 19世紀の女性たちについての本と絵本です

『ヴィクトリア朝の女性たち ファッションとレジャーの歴史』

【383.15/ヤ】山村 明子/著(2019)原書房

『問題だらけの女性たち』【726.6/7】

ジャッキー・フレミング/著(2018)河出書房新社

『10代の悩みに効くマンガ、あります！』

著者名 トミヤマ ユキコ
出版者 岩波書店
出版年 2023
分類番号 159.7/ト

タイトルにあるように、10代の人に向け様々な悩みに対してのマンガ紹介形式の本です。例えば「友だち関係がうまくいかない時」や「将来が決められない時」など、若者が思い悩む学校や進路の事柄についての章がありますが、「自立と自活ができるようになるには」などの、ティーンじゃないけど自分でできているかな?!という話題についても書かれています。さらに自立と自活の達人とは「他人から頼られてもグラつかないこと」らしいので、グラグラしっぱなしの大人にとっては冷汗モノでしょう。

外見も気になるお年頃、「イケてる人になりたいのになれない時」ではルッキズムについて書かれています。ルッキズムとは「外見重視主義」とも言われ、外見でその価値をつけることですが、この本では、少女漫画では案外こうすれば解決するという唯一の正解があるわけではないと言っています。自身の価値観を持たず、内面がなかなか変わらない主人公の本を紹介しています。

ジュニア向け新書なので持ち運びやすく字も大きく、各章おまけ情報として、書籍や映画の紹介もついています。10代でもそうでなくても楽しめる構成になっていますので、ぜひ手に取ってみてください。

📖 人間関係について「同意」も必要ですね。『14歳の世渡り術プラス』です。

『10代で知っておきたい「同意」の話 YES、NOを自分で決める12のヒント』

【361.4/ハ】 ジャスティン・ハンコック/文(2022)河出書房新社